

藤井旭の天文年鑑
ふじい あきら てんもんねんかん
2022年度版より
(誠文堂新光社)

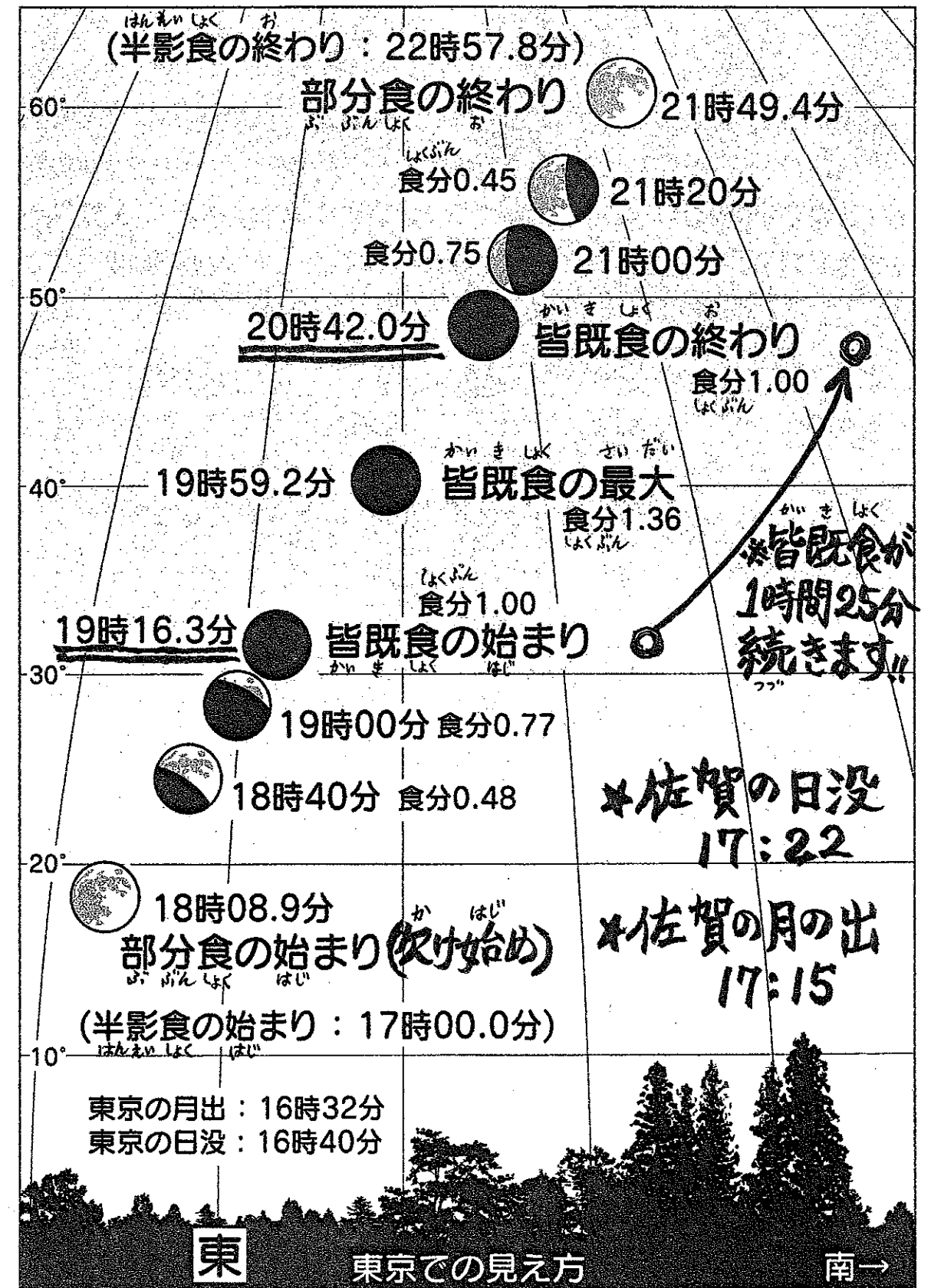
★11月8日、宵の皆既月食

11月8日(火)に

皆既月食が見られます!

は
晴
れ
る
と
い
い
で
す
ね!!
☺

中国や四国地方以西では、月の出のころには、すでに半影食が始まっ
ていて、月出帯食となりますが、その他の地方では、月の高度も東の空
のほどよい高さに昇っていてとても観測しやすい皆既月食で、その点も
含め最良の皆既月食といっているものです。しかも、皆既中に天王星が
かくされる「天王星食」も起こるというめずらしさです。



月食とは、満月が地球のかげのところを
通るときに、欠けて見えたり赤黒く見えたり
する現象です。今回は、日没後の早い
時間に見られ、短い時間ですべての
部分が欠けて見える、とてもよい条件
です。ぜひ観測してみましょう!!

- ※肉眼(自分の目)でも、十分に見えますが、望遠鏡や
双眼鏡があると、もっとよく見えます。
- ※必ずおうちの人と一緒に、寒くないように厚着を
して見るようにしましょう!

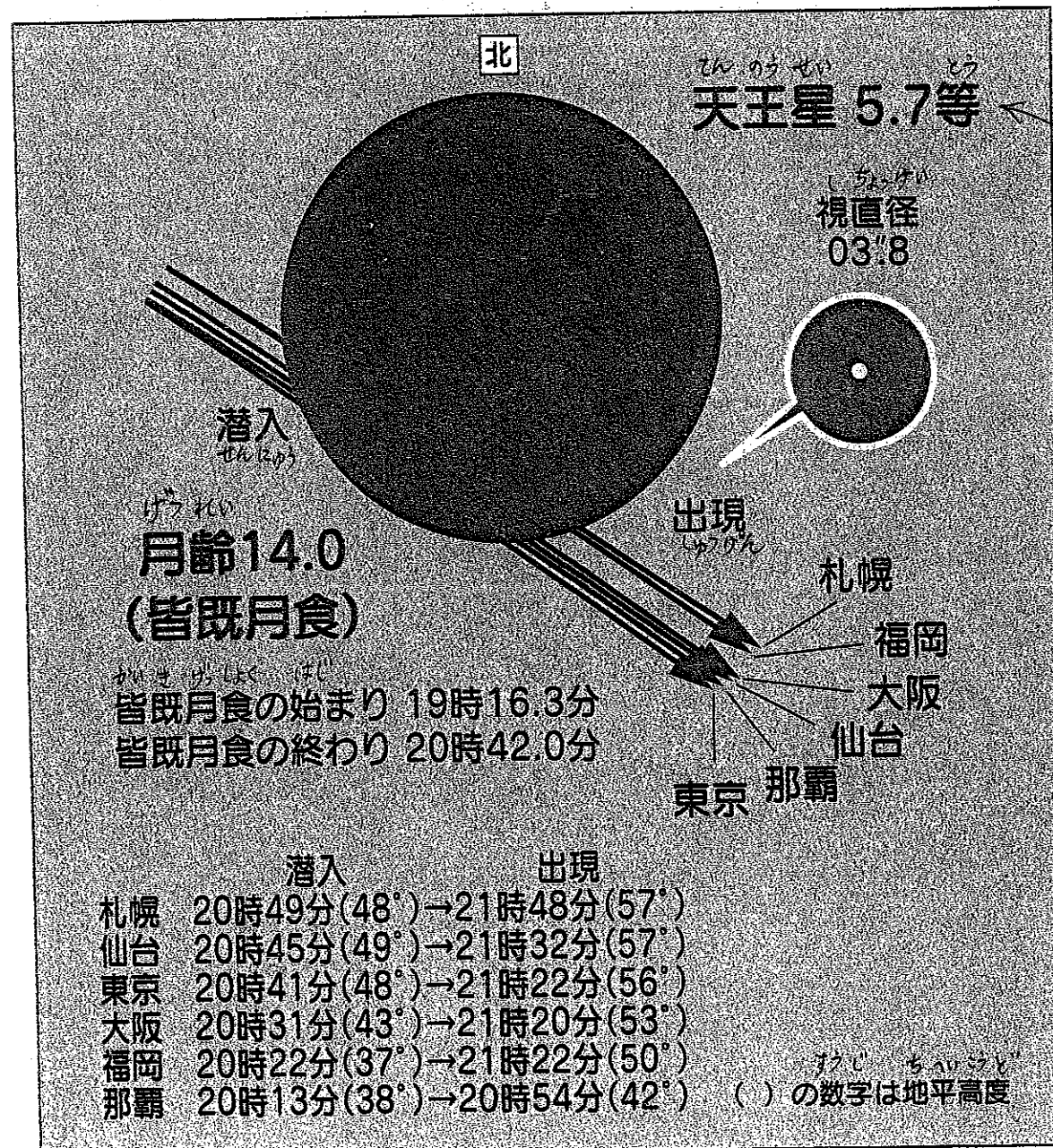
皆既月食と同時に、天王星食も!!

『藤井旭の天文年鑑 2022年度版』より
(誠文堂新光社)

・日本で皆既月食と天王星食が同時に起こるのは、
4000年に1度しかないそうです!!

★11月8日の皆既月食中に天王星食

11月8日の皆既月食は19時16分から20時42分までの間、皆既の状態が続きますが、その皆既中に天王星が赤銅色に変身した満月にかくされる「天王星食」が起こり、見のがせません。赤い月食中の月と青緑がかった天王星の色彩のコントラストが双眼鏡でも美しく見られます。

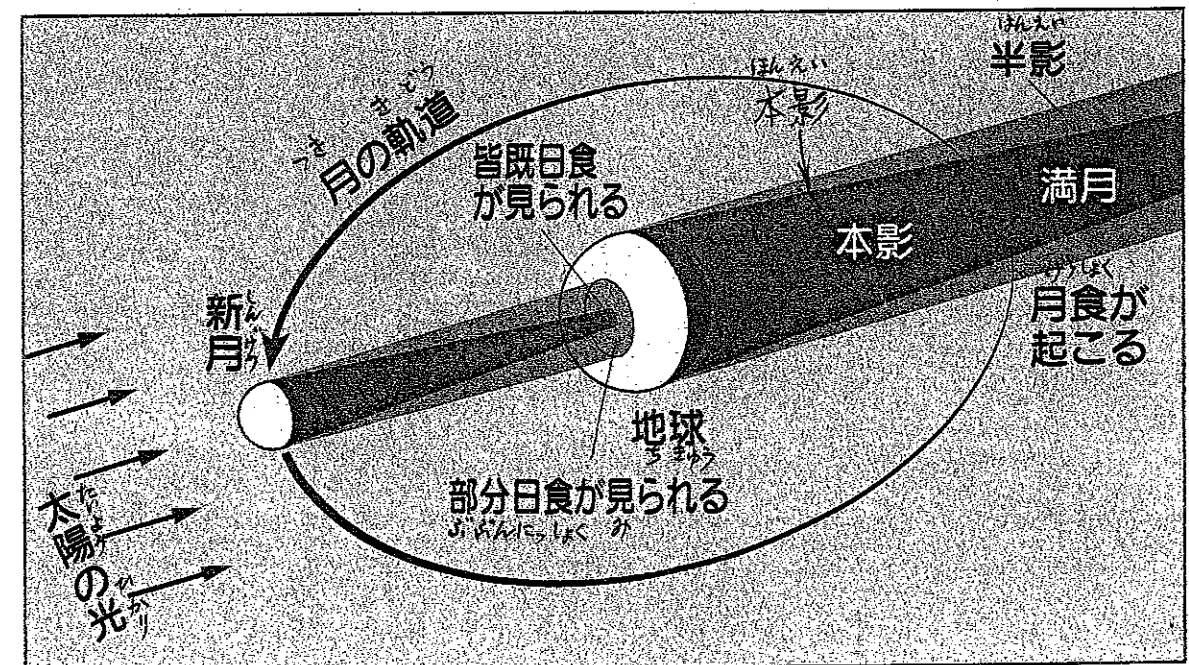


★皆既月食中の天王星食の様子

解説

皆既月食の見どころ

11月8日宵の皆既月食は、月の出間もなくのころから始まりますので宵の見ものとしては最良の月食といえます。日本全国どこでも同じような見え方なので全経過を楽しむことができます。今回は地球の影のほんの少し北よりを通る深い皆既月食なので、皆既の継続時間も1時間25分と長く、月の高度も40°と肉眼で見あげる高度としてもちょうどよいので、肉眼で見ても、双眼鏡で見ても、望遠鏡で見ても、さらにカメラでねらってみても余裕をもって観察でき、これほど好条件で見られる皆既月食はそんなには体験できるものではありません。しかも、赤銅色に変身した皆既中の満月に天王星がかくされるという、これもまためったにお目にかかれない「天王星食」のおまけつきなのですから、こたえられません。皆既中の月面の色は2ページのカラーページに示してありますが、天王星は青緑色をした5等星の明るさですから双眼鏡でもはっきりわかり、両者の色彩の違いがじつにあざやかな印象となって見えることでしょう。なお、次の部分月食は2023年10月29日です。



★日食と月食の起こるわけ